



厚木市郷土資料館NEWS 218

平成 29 年度の郷土資料館

新資料館の準備が本格化します



厚木市郷土資料館は、新たな施設の平成 30 年度中の開館を目指し、準備してまいりましたが、本年度から工事に着工、いよいよ本格化いたします。現在の資料館で、進めてきました展示、講座などの活動を、新しい施設でさらに充実し、グレードアップさせるべく、準備をいたします。

新施設の立地ですが、下川入地区にありました旧青年の家の跡地、現在は自然園として親しまれている場所となります。この恵まれた自然を活かした展示や講座、またイベントとの連携も可能となり、活動の幅は広がります。

平成 29 年度中は、今の資料館で活動しながらの準備となります。資料の移転にともなう作業等のため、ご不便をおかけすることもあるかと思いますが、皆様のご理解、ご協力のほどお願い申し上げます。

＊今年の「資料館 news」では、新施設の準備の様子をお伝えします。

資料館のさまざまな活動① レファレンス 1

こんな質問に答えてきました

資料館では、開館時より地域資料に関する厚木市内外の方々からの疑問、質問の相談に対し、資料館活動などによって収集した情報によって回答を行ってきました。これをレファレンス（参照業務）と呼びますが、毎年さまざまなご質問にお応えしています。

利用が多いのは、小学生の夏休みの宿題、大学生のレポートの資料探し等ですが、他にもいろいろな理由で、問い合わせる方がいらっしゃいます。

例えば、上飯山育ちで現在は新宿区百人町に住む年輩の方から「今朝、若い時に青年団の人がヒヨドリをヒョースといていたのを思い出した。正しいかどうか、記憶を確認したい」との問い合わせ。担当者は『分類神奈川県方言辞典Ⅰ』（2003、県立歴史博物館）、『厚木の民俗5 ことば』（1986、厚木市教委）で確認。前書は愛川町の事例として、後者ではヒヨウと掲載。「飛んできて横にそれること」を「ヒョーケル」とする記述もあり、お伝えすると「懐かしい飯山の空を思い出しました」との楽しげな声。こちら嬉しくなります。

また、三田小学校3年女子、仲良し3人組からは「総合学習で“お金”に取り組んでいます。古いお金が見たい、説明して欲しい」との依頼。収蔵資料の古銭や『厚木の埋蔵古銭』（1985、厚木市）等から説明しましたが、「今のお札も“藩札”のように価値がなくなってしまうことはありますか」と大変ナイーブな再質問。彼女たちの恐れていることが現実となったのが「軍用手票」「戦時公債」です。収蔵資料を見ながら、兌換紙幣^{だかんしへい}の意味、仕組みを考えてもらいました。

資料館では、これからも皆様のさまざまな疑問にお答えしていきます。

*学芸員が不在の事もあります。ご来館による資料館への問い合わせは、お電話等で連絡をしてから、お越し願います！



▲『厚木の民俗5 ことば』
他にも興味深い事例が多数

平成29年度 郷土資料館行事予定

- * 郷土資料館の新着収蔵資料、収集調査研究活動によって得られた最新の知見、市民の方々との協働の成果などを「ホール展示」「ミニ展示」（通年）で公開します。
- * 各行事の詳細や応募方法は、広報あつぎや資料館ニュース、ホームページで行事ごとにお知らせします。皆さんの御参加をお待ちしています。

展 示

（名称、開催時期は予定です）

第54回収蔵資料展 「“あつぎ百科”物語③ —みんなでつくる郷土資料館 歴史・文化編—」 （5～6月）	まもなく開館20年を迎え、場所を移転する資料館ですが、その間には多くの郷土資料を活用し、展示会、講座を行ってまいりました。 「あつぎ」とは何か、「あつぎ」であることの証しとなるのが郷土資料です。資料館が目指してきた市民のデータバンク「あつぎ百科」の基本となるものですが、収集品がどのような過程を経て、博物館資料となり、収蔵されていくのか、ご紹介します。 本展示会は、歴史・文化編と自然編の2回に分けて開催いたします。
第55回収蔵資料展 「“あつぎ百科”物語④ —みんなでつくる郷土資料館 自然編—」 （7～8月）	

講 座

（名称、内容は予定です）

□歴史講座 「はじめての古文書」	郷土資料館に収蔵されている近世（江戸時代）の古文書を利用して、初心者向けの講座を行います。
□古文書解読会 「厚木の古文書を読もう」	市民の方々が中心となり、郷土資料館が収蔵している古文書を利用し、古文書に関する知識を深めていただくとともに、厚木の歴史を学びます。最後の週は学習会で、その成果を発表いたします（参加自由）。
□自然観察会 「厚木の自然をあるく」	市内のすぐれた自然が満喫できる講座です。今年度は水辺に生息する生物のスター、ホタルとトンボ、セミの羽化、水鳥を観察するガイドを開催します。
□民俗講座 「あつぎ 石造物の会」	郷土厚木に生きた人々の暮らし、願いが込められた「石造物」。今年も10年にわたる会の活動成果を活かした講座で、その魅力を追及、紹介します。
□日本わらべうた協会 「伝えよう！わらべうた遊び」	日本わらべうた協会により、先人の暮らしの知恵がつまった「わらべうた遊び」の普及を目的とし、子どもたちとともに楽しく遊びながら学びます（参加自由）。





2017 4月 郷土資料館カレンダー

日	曜日	行 事 内 容	実 施 場 所	時 間	対象等
3	月	伝えよう わらべうたあそび！	学 習 相 談 室	10:00~ 15:00	◎
13	木	古文書解読会	学 習 相 談 室	14:00~ 16:00	◎
17	月	伝えよう わらべうたあそび！	学 習 相 談 室	10:00~ 15:00	◎
19	水	古民家岸邸 古民家の端午の節句（～5月14日まで）		10:00~ 17:00	◎
20	木	古文書解読会	学 習 相 談 室	14:00~ 16:00	◎
27	木	古文書学習会 「相模国風土記稿」を読む	学 習 相 談 室	14:00~ 16:00	◎



○申込み制 ☆受講決定済みの方 ◎参加自由

《古民家岸邸 4月 の休館日》

3(月),4(火),10(月),11(火),17(月),18(火),24(月),25(火)



ホール展 「新着収蔵資料展

～28年度収集の寄贈資料～

■場 所 資料館1階 エントランスホール

■開催期間 平成29年4月から

*写真は「神奈川県畜産会 優勝カップ」



(問い合わせ・申し込み先)

〒243-0003 厚木市寿町3-15-26

厚木市郷土資料館

<http://www.city.atsugi.kanagawa.jp> TEL 046-225-2515

厚木市郷土資料館 news 218

発行日：平成29年4月1日

編集：厚木市郷土資料館

発行：厚木市教育委員会